ご存じですか？

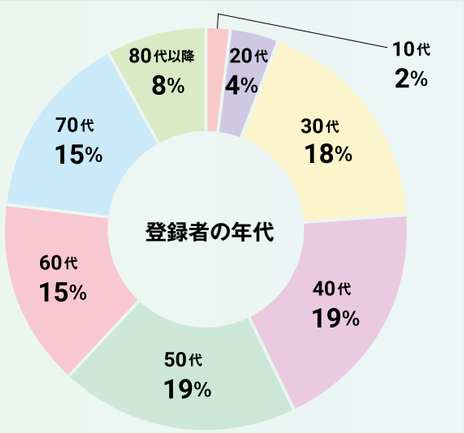
# 天草市ふるさと住民登録制度

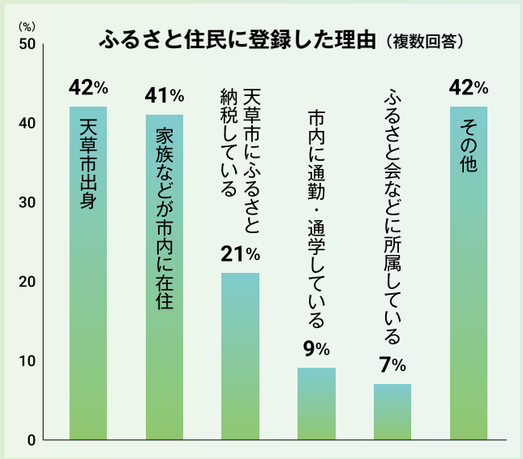
登録者数 886人（年々増加中）

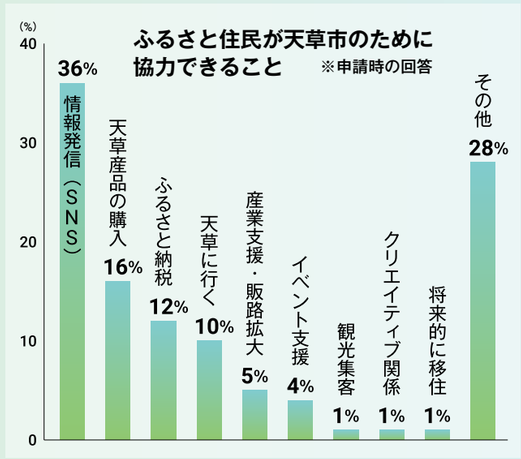
天草市ふるさと住民登録制度とは、本市にゆかりのある人や心のふるさととして愛着を持つ市外在住者と市民が、双方の心のつながりや絆を更に深めることにより、魅力ある地域づくりや交流の促進、将来的な移住・定住へつなげることを目的に、平成30年度から始まった取り組みです。

市外在住のふるさと住民登録者は886人（10月30日現在）で、年々増加しています。ふるさと住民の活動内容は、SNS等での情報発信、ふるさと納税や観光での再来訪、天草産品の購入などが主となっています。

これまでに、ふるさと住民から移住に至った人もいます。




出典：ふるさと住民登録台帳（令和8年10月30日現在）より

## 天草市ふるさと住民登録者への特典

① ふるさと住民カードがもらえる
② 希望者に広報紙やイベントなどの紹介チラシが届く
③ 希望者にメールマガジン（イベントなどの紹介）が届く
④ **天草エアラインが特別運賃（約4割引き）で利用できる**
　**※繁忙期を除く**
⑤ 天草暮らし体験ツアーに参加できる
⑥ ふるさと住民限定イベント
　（東京・大阪・福岡）に参加できる
⑦ 特製名刺がもらえる（1回限り）
⑧ あまくさンサポーターとしての活動を市が支援
⑨ 事業承継時に、承継者に発生する手数料が2割引になる

天草市ふるさと住民登録制度▼





▲天草暮らし体験ツアー



住んでいなくても
# 天草の一員
# ふるさと住民

人口減少が急速に進み、地域の担い手不足が深刻な問題となっている本市。市では、移住・定住の促進に力を入れています。また、すぐに移住に至らなくても、天草を応援し、継続的に関わってくれる人（ふるさと住民）を増やすことが、将来の移住や継続的な地域支援につながります。

今号では、ふるさと住民を増やす取り組みと、天草の一員として活動する皆さんを紹介します。

問 地域政策課 ☎27－6000


御所浦の子どもたちに勉強を教える地域おこし協力隊インターン生


地域の事業所で活動する牛深ライフ遊学生


御所浦体験ツアーで地域おこし協力隊の話に耳を傾ける参加者


ふるさと住民として天草をPRするためイベントに出店

## 天草の活力を維持するために欠かせない「3つの人口」




① **交流人口**…旅（観光）などで一時的に訪れる人のことです。
② **関係人口（ふるさと住民）**…その地域に住んでいなくても、継続的に地域と関わる人のことです。関係人口を増やすことが、将来の移住や継続的な地域支援につながります。
③ **定住人口**…天草に腰を据えて暮らす私たち市民のことです。

## ふるさと住民として活動中！



### 天草元気プロジェクト

代表 **渡邉（けん） 健** さん
（東京都）
※栖本町出身

天草元気プロジェクトは、都市部在住の天草出身者を中心とした「地元から離れたからこそ応援したい」「天草のために何かしたい」という人たちの集まりで、平成20年に発足しました。天草産品のPRや、数年前の映画「のさりの島」のPR活動など、天草を多くの人に知ってもらいたいという想いで活動しています。

先日は、私の住む目黒区で行われている「目黒区民まつり」がありました。目黒区には、切支丹灯籠と呼ばれる文化財があったり、天草大王などの天草の食材を使用している飲食店が多くあったりと、天草とのつながりを感じることができます。この目黒と天草のつながりをより一層深めたいという想いで出店しました。ブースでは、天草の産品販売や紹介などを行い、天草出身者や天草に親戚がいる人、観光で訪れたことのある人など、さまざまな人が訪れてくれました。

昨年度は、恐竜の島である御所浦を都市部の人に知ってもらおうと、御所浦の地域おこし協力隊の皆さんと連携し、化石採集体験を企画。イベントには子どもたちなど多くの人が参加してくれ、実際に御所浦の化石採集場から持ってきた石などを使って体験してもらいました。参加者からは、「御所浦に行ってみたい」という声も聞かれました。

これからも天草の産品などを通して多くの人に天草を知ってもらうことや、観光や体験など人の行き来につながるような活動を続けていきたいです。天草の皆さんには、天草内外で新しいことに挑戦する若い人たちを応援してもらえたらと思います。



▶目黒区民まつりでは同区と友好都市を結んでいる自治体なども出店。天草から取り寄せた産品を販売した

### 天草ふるさと住民note（ノート）の執筆者の一人



**山城 優子** さん
（鹿児島県）
※佐伊津町出身

◀天草ふるさと住民note

「天草の文化をつないでいきたい」という想いがあり、実家に帰ったときにだご作りをした時のことや、天草マラソンに参加した時のことなど、天草内外の人に興味を持ってもらえるような記事を作成し、発信しています。

今後は、他のふるさと住民や天草市民にインタビューして、天草の好きなところや思い出、今住んでいる地域とのギャップなどを聞いて記事にしてみたいなと思っています。

一人でも多くの人に記事を読んでもらって、天草の魅力を知ってもらい、ぜひ天草に訪れてもらいたいです。天草に住んでいる人にも、ふるさとの良さを改めて感じていただくきっかけになればうれしいです。

### ふるさと会も天草を支えています！

ふるさと会の一覧▶

天草出身者で構成される各地域の「ふるさと会」では、観光情報や特産品のPRなど天草の魅力発信や、ふるさと納税を通し、天草を応援するさまざまな活動や交流が行われています。

加入することで、天草を離れた人でも、出身者同士のつながりをつくることができます。ふるさと会を通して、天草を応援する一員になりましょう！

各会への連絡・加入方法などは地域政策課（☎27-6000）へお問い合わせください。



## 3カ月間 牛深で暮らし、働く「牛深ライフ遊学」

「牛深ライフ遊学」は、地域のにぎわい創出や関係人口の増加、移住定住の促進を図ることを目的に、都市圏から若者を約3カ月ごとに順次受け入れています。遊学生は、仲間とともに牛深で暮らし、働きながら、地域の魅力や抱える課題を知り、情報発信や課題解決の糸口を見つける取り組みをしています。この取り組みを通し、“若者から選ばれる地域”となることを目指します。

10月から滞在している第4期生に話を聞きました。

写真右から




**日隈（ひのくま） 葉子（ようこ）** さん（兵庫県）
天草宝島観光協会牛深支所で活動

**齋藤 太一** さん（大阪府）
天草漁業協同組合牛深総合支所で活動

**舘（たち） 琉一郎（りゅういちろう）** さん（北海道）
天草漁業協同組合牛深総合支所で活動

**小川 風帆（かほ）** さん（兵庫県）
あまくさ農業協同組合牛深支所で活動

**神野（じんの） 沙也果（さやか）** さん（兵庫県）
天草宝島観光協会牛深支所で活動

### 応募したきっかけは

**舘さん**：大学のサークル活動で地方を訪れる中で、地方創生や一次産業に興味を持ち、インスタグラムで牛深ライフ遊学を知って応募しました。

**神野さん**：私は、前職で旅行会社に勤めており、元々地方創生に関心がありました。地方創生を今までとは違う別の角度で見てみたいと思い応募しました。

**日隈さん**：海に囲まれて暮らすことに憧れていたからです。これまで全国約20カ所の海辺に滞在してきました。牛深の海はその中でも1・2を争うほどきれいだと感じます。

### 具体的な活動は

**小川さん**：今はミニトマト農家さんにお世話になっていて、収穫・選別・出荷作業などをしています。

**齋藤さん**：私は、漁協で朝5時から、魚の選別などをしています。満月の日は、集魚灯では魚が集まりづらいため漁に出ないなど、漁業が月と連動していることに驚きました。

**日隈さん**：私は、牛深まち歩きコースをブラッシュアップしています。まち歩き案内人の皆さんの牛深愛の強さや温かさを感じています。

**神野さん**：私も、牛深の人は地域愛が強いと感じます。皆さん「どうにかして牛深を盛り上げたいが、どうしたらいいか分からない」という人が多いなという印象です。

### 活動や普段の生活の中で印象に残っていることは

**舘さん**：街中で歩いている人にあいさつすると、返してくれるのがとてもうれしいです。都会ではあり得ません。

**神野さん**：牛深の人は魚に詳しい人が多く、さすがだなと感じます。私はほとんど魚の名前を知らないので、滞在中に覚えたいです。

### これから取り組みたいことは

**小川さん**：SNSを活用して牛深でとれる農産物を全国に発信していきたいです。

**齋藤さん**：たくさんの人と交流しながら、魚の名前も牛深弁もマスターしたいです！



▶観光協会でちくわ作りを体験中

牛深支所から委託を受け、牛深ライフ遊学の募集・採用からSNSでの情報発信、活動支援など、市の職員と一緒に幅広くサポートしています。

牛深に来る遊学生は、皆さん積極的に地域の人に声を掛け、「地域のために何かしたい」という想いを持って活動しています。牛深の皆さんも、遊学生に方言を教えてくれたり、食事に誘ってくれたり、温かく迎え入れてくださっています。初めての土地に緊張していた遊学生も、3カ月後には「地域のためにもっとこうしたら良いんじゃないか」「地域のために自分ができること」を考え行動に移すなど、成長した姿を見せてくれます。そのような遊学生の姿を見て、牛深の人も一緒になって考え、「何か取り組んでみようかな」という気持ちが芽生えているように感じます。

遊学生が地域に根付き、若者の力で活気づいていってくれたらうれしいです。

▶活動のようすを発信中！

(一社)namikaze（なみかぜ） communities



# 御所浦で地域おこし協力隊インターンが活躍

御所浦では、交流人口や関係人口の増加と持続可能な島づくりを目的に、令和7年度から地域おこし協力隊のインターン生を募集し、8・9月に受け入れています。

## 令和7年度の活動

### 若年層（10～20歳代）に向けた魅力の発掘と情報発信

○SNSでの情報発信や住民との交流（イベント補助）のほか、御所浦に関するZINE（ジン）※を制作

○インターン生全員がインターン終了後も来訪するなど、関係人口の創出につながっている

※自分の思いや表現を自由にまとめた個人制作の小冊子



元地域おこし協力隊インターン生




自分の進路を考えるきっかけを求めてインターンに参加しました。御所浦の魅力や人の温かさに触れ、「このご縁を続けていきたい」という思いからインターン終了後も再訪し、地域の人と交流しています。また、「他にも魅力ある地域があるはず」と感じ、もっと知りたいと思うようになりました。

お世話になった皆さんへの恩返しとともに、御所浦で芽生えた地域への思いを広げ、県全体の地域づくりに貢献したいと考え、熊本県庁への入庁を決めました。

## 今年度からの取り組み

### 御所浦地域の児童生徒を支援！学力アップ&検定合格をサポート

学習塾などがない御所浦地域の児童生徒を対象とした夏休み限定の学習支援教室を新たに実施。4人のインターン生（大学生）が小・中学生に勉強を教えました。また、ミニ交流会の時間を設け、一歩先の未来を歩む現役大学生から都市部での生活や、これまでの進路選択などについて話を聞きました。



## 「保育園留学」で地域と親子をつなぐ

都市部での子育てに閉塞感を感じ、地方でのびのびと子育てをしたいと考えている家族をターゲットに、令和4年度から「保育園留学」を受け入れています。子どもは市内の保育園に通い、保護者は市内でテレワークをしながら、都会ではできない自然との触れ合いを体験できます。また、利用者の滞在期間中の生活費や観光消費など、地域における経済効果も生まれています。

利用者には、ふるさと住民に登録してもらうことで、利用後も関係人口としてのつながりを維持しているほか、将来的な子育て世帯の移住も期待できます。




**保育園留学の実績と効果**（令和4年～7年度）

| | 合計 |
|---|---|
| 留学家族数 | 179組（553人） |
| 子どもの人数 | 236人 |
| リピート数 | 1組 |
| 宿泊日数（延べ） | 5,663泊 |
| 地元事業者への寄与額（宿泊・飲食等） | 2,686万円 |
| 再訪希望率 | 91%　※平均 |
| 移住世帯数 | 1組 |
| ふるさと納税 | 348万円（33件） |





# 令和９年度から総務省「ふるさと住民登録制度」がスタート

詳細▶

## 地域の「困りごと」と ふるさと住民の「関わりたい」をマッチング！

全国で始まる「ふるさと住民登録制度」。普段暮らしている場所とは別の地域をスマホアプリで登録することで、地域と地域に愛着を持つ人（＝ふるさと住民）との継続的な関係を育む仕組みです。その地域ならではの情報をキャッチしたり、実際に地域で「担い手活動」に参加したりすることができます。




### 「新しい力を求める地域と地域に関心がある人をつなぐ」

ふるさと住民登録制度を通じて、新しい力を求める地域と地域に関わりたい人の想いをつなぎ、新しい関係を生み出すことで、双方にとってより良い未来をもたらすことを目指しています。

### 「ふるさと住民が生み出すうれしいこと」

**地域のファンと継続的な関係を築ける**

地域に愛着を持つ人とのつながりができることで、地域の仲間として持続的な関係を築くことができる

**地域の営みを未来へつなぐことができる**

愛着を持って訪れる人と一緒に地域の活動を担うことで、日常の景色や伝統、文化を未来へ守り継ぐことができる

**地域に活力が生まれる**

その地域ならではの営みや文化を一緒に支える新たな仲間が増えることで、地域活動が活発化し、地域の暮らしが豊かになる

## 今日からできる、天草の応援団づくり

**身近なところからPR**

離れて暮らす家族や親戚に、「天草でこんな面白いことやってるよ」とふるさと住民への登録を呼び掛けてください。

**温かい声の力**

来訪者へのちょっとした声掛けや世間話が、天草のファンをつくる一番の力になります。

**新しい仲間を温かく迎えよう**

新しい土地での生活は、誰でも不安なもの。小さなことで悩んでいるかもしれません。笑顔であいさつをする、地域の「当たり前（ごみ出しや行事）」を優しく教えてください。